

今回は担任の先生との打合せの時間から得たヒントやアイデアを生かし、他教科の内容を取り入れた外国語活動を工夫し、チームティーチングの良さを最大限に生かした授業に取り組まれている福島県伊達郡で活躍されている石川さんの実践報告です。



石川まゆさん

英語教室 Apple English School 主宰、J-SHINE 小学校英語上級指導者
福島県伊達郡国見町教育委員会学校教育課 英語特別非常勤講師5年目
国見町立国見小学校 勤務

J-SHINE 通信

2014年9月号

■J-SHINE資格、上級指導者資格取得のきっかけ

子どもと一緒に遊ぶことが大好きな私は、自分の得意な英語を使って勉強する楽しさを子どもたちに伝えたいとずっと思っていました。民間の英会話教室に勤務した後、自分で英語教室を開きましたが、教授法や子どもたちとの関わり方などを勉強することにより、さらに良い指導ができると思いJ-SHINEの資格を取得することにしました。資格取得の翌年はちょうど外国語活動が導入される年となり、何名かの候補者の中でもJ-SHINE資格を取得していたことが幸いで、国見町教育委員会のALT(Assistant Language Teacher)として採用が決まりました。

採用された当時は町内に4校あった小学校を周りながら、担任の先生(HRT)と協力しながら授業を進めていたことを覚えています。担任の先生も私も初めてのことばかりで、どのようにしたら子どもたちに英語を楽しんで勉強してもらえるか、1時間以上も打合せをしたこともありました。少しずつ授業のペースを掴むことができた頃、より良い授業のお役に立てればと上級指導者の資格を取得しました。上級指導者の資格取得後は、夏休みなどを利用し、校内の先生方はもちろん地区の先生方への研修の講師もお手伝いさせていただきました。先生方と打合せをすることで、教室の黒板に英語で曜日を書いてくださったり、授業中に作成した月のカレンダーを掲示物として教室に飾ってくださったり、体育の掛け声は英語で行っていただいたり、子どもたちが英語にたくさん触れる機会を作っていただけになりました。今もトレーナーの方々のセミナーに参加し、そこで学んだことを担任の先生と共有しながら一緒に打合せをし、楽しく学べる授業を日々目指しています。

■現在の活動状況

私が勤務する小学校では、今年から1年生から6年生まで年間英語カリキュラムを作成し、外国語活動に全学年で取り組んでいます。全学年とも授業形態はTTで、担任の先生がT1、私ともう一人町で雇用している外国人教師がクラスごとに分担して、T2として授業に入っています。担任の先生はあいさつ、その日の日付や曜日、天気、季節等を英語で確認し、私や外国人教師は英語の歌を歌ったり、チャンツやフォニックスを言ったりと音声の支援をしています。また、アクティビティについては担任の先生と協力して行っています。

毎月月初めに各学年の先生方に打合せの時間を取っていただ

き、学級担任の先生と話し合いをします。授業の進め方もそうですが、子どもたちの好きなものや興味のあるものを話し合い、それらを授業に取り入れるようにしています。校長先生をはじめ、他の先生方もとても協力的に接してくださり、打合せはいつも有意義なものとなっています。デジタル教材も導入しながら、視覚・聴覚もフル活用し、どんな授業なら子どもたちは興味を持ってくれるかを相談しながら進めています。打合せはとても大切で、ちょっとした雑談からレッスンに大きな影響を与えるヒントが出てくることもあります。算数の授業での足し算や引き算を英語の授業に取り入れられたり、理科で学習した昆虫やその他の虫の足の数を英語で数えてみたり、家庭科の調理実習で作る献立を英語で言ったりと他教科に渡り学習できるのも、担任の先生との打合せのおかげです。他にも、その月の学校行事や町の行事、今話題のニュース等に触れることで、日本と外国との違いに触れることはもちろん、外国語活動を通して、自分たちの町の歴史や日本の文化について自然に興味を持ってもらえるようにも取り組んでいます。

■今後の展望、課題、目標

ALTとして始めた当初は、いろいろと課題もたくさんあり大変な時期もありましたが、課題を一つずつクリアしてきた結果が今の自分に繋がっていると思います。廊下や階段ですれ違った子どもたちは、「Hello, まゆ先生！」と大きな声で挨拶をしてくれます。「英語の授業は楽しいよ！」「英語が好きになったよ！」と声をかけてもらえると、諦めずに頑張ってきてよかったなと実感します。「子どもたちが英語を身近に感じられるようになってきました。」と担任の先生からも嬉しいコメントをいただき、とてもやりがいを感じています。5,6年生には単元毎に振り返りシートを書いてもらい、その中に友だちのどんな点が良かったか、自分が成長した点はどこかなどを書く欄を設けています。そこで、「英語を話せた事が嬉しかった」「休み時間にお友達と習った英語で話してみた」「○○ちゃんみたいにとどんと発表できるようになりたい」などという記入を見ると、本当に嬉しいです。これからもこのシートを活用し、子どもたちの英語力、人間力を伸ばしていきたいと思っています。

今後も自分の英語力や指導力を磨きながら、子どもたちに「英語は楽しい」「もっと海外や日本について知りたい」と言ってもらえるような楽しい授業を、担任の先生と協力して展開していきたいと思っています。